

相続に関する調停手続の 適切な運営のために！

相続調停

編著 ● 松原正明
常岡史子

弁護士、元横浜家庭裁判所部総括判事、
元早稲田大学大学院法務研究科教授

横浜国立大学大学院国際社会科学研究院
国際社会科学部門教授

2023年
12月15日
発売

A5判ソフトカバー 264頁
定価（本体2,600円+税）
ISBN978-4-335-35964-4

近年、増加傾向および深刻さの増す相続に関する紛争の解決に重要な役割を果たす調停手続の適切な運営に資するため分かりやすく解説した好著。
調停委員、法曹実務家、必読の一冊です。

【本書の特長】

- ① 直近の民法及び家事審判法の一部改正法等、相続に極めて重要な改正に対応すると共に、その争点を中心に遺産紛争調停の運営の指針を解説。
- ② 調停における当事者の具体的主張及び反論を想定し、これを踏まえた上での具体的事例を設定して解説。
- ③ 読者対象として第一に調停委員等の調停を運営する方々に、同時に当事者ないしその代理人として調停に関わる方々にも、調停進行のあり方の理解、調停における主張・反論を検討する上で資するものを目指した。



目次

1. 短期配偶者居住権 [松原正明]
2. 遺産性 [近藤ルミ子]
3. 遺産分割の対象財産性 [清水 節]
4. 一部分割——907条 [常岡史子]
5. 相続分の譲渡・放棄 [浦木厚利]
6. 特別受益 [佐野みゆき]
7. 寄与分 [大森啓子]
8. 分割方法——配偶者居住権 [長森 亨]
9. 祭祀財産の承継 [加藤祐司]
10. 遺留分調停 [青竹美佳]
11. 相続法改正を中心とした遺産分割紛争調停のあり方 [鈴木裕一]
12. 相続開始後10年が経過した遺産分割等 [竹内 亮]